

平成 27 年  
1 月 27 日

# 病害虫発生予報 2 月号

茨城県病害虫防除所  
茨城県植物防疫協会

農薬の誤飲事故に注意！  
～ 農薬は飲食物と分けて保管しましょう～

## < 目次 >

### I. 今月の予報

#### 【注意すべき病害虫】

イチゴ：ハダニ類	1
促成ピーマン：アザミウマ類	1
促成トマト・促成キュウリ：灰色かび病	2

【その他の病害虫】	2
イチゴ，促成ピーマン，促成キュウリ	

### II. 今月の気象予報 3

最新の農薬登録内容は、(独)農林水産消費安全技術センターホームページの「農薬登録情報提供システム」([http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm))で確認することができます。

詳しくは、病害虫防除所へお問い合わせ下さい。

茨城県病害虫防除所 Tel : 029-227-2445

予報内容は、ホームページでも詳しくご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/>

## I. 今月の予報

### 【注意すべき病害虫】

#### イチゴ

##### 1. ハダニ類

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
—	やや多い	県下全域

[予報の根拠]

- ① 1月下旬現在、寄生葉率は平年より高く(本年値 38.7%, 平年値 11.8%), 被害葉率は平年並である(本年値 9.0%, 平年値 12.4%)。なお、寄生葉率は圃場による差が大きい。

[防除上注意すべき事項]

- ① ハダニ類は増殖が速いので、発生の少ないうちに防除を徹底する。
- ② 薬剤散布は、薬液が葉裏や葉柄にもよくかかるよう十分な量で丁寧に行う。また、薬剤抵抗性の発達を抑えるため、気門封鎖剤を除いて同一系統・同一薬剤の連用を避ける。なお、薬剤散布は古い下葉を除去してから行うと効果的である。
- ③ ミツバチや天敵を使用している場合は、薬剤の影響日数等に十分注意する。

#### 促成ピーマン

##### 1. アザミウマ類

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
—	やや多い	鹿行地域

[予報の根拠]

- ① 1月下旬現在、寄生花率(本年値 57.0%, 平年値 24.1%), 発生地点率(本年値 100%, 平年値 67%)ともに平年よりやや高い。

[防除上注意すべき事項]

- ① アザミウマ類は増殖が速く、各種ウイルス病を媒介するので、発生の少ないうちに防除を徹底する。
- ② 薬剤散布は、薬液が花や果実にもかかるよう十分な量で丁寧に行う。また、薬剤抵抗性の発達を抑えるため、異なる系統の薬剤を用いてローテーション散布する。
- ③ 天敵を導入しているハウスで薬剤防除を行う場合は、天敵への影響に十分注意する。

## 促成トマト・促成キュウリ

### 1. 灰色かび病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
—	平年並～やや多い	県下全域

[予報の根拠]

- ① 1月下旬現在、促成トマトの発病果率（本年値 0%，平年値 0.02%），促成キュウリの発病果率（本年値 0.5%，平年値 0.1%）ともに平年並である。
- ② 気象予報によると、向こう1か月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か多いと予想され、発生を助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

- ① ハウス内が多湿になると発生が助長されるので、暖房、送風、換気等によりハウス内の湿度を低く保つ。
- ② 花落ちが悪く残った花卉や罹病部は早急に取り除き、ハウス外に持ち出して適切に処分する。
- ③ 薬剤は、薬液が葉裏にもよくかかるよう十分な量で丁寧に散布する。また、薬剤耐性菌の出現を防ぐため、系統の異なる薬剤を散布する。
- ④ 薬剤散布は、薬液が乾きにくくなる午後からは行わず、晴れた日の午前中に行う。また、曇雨天が続き薬液が乾きにくい場合は、くん煙剤を利用する。

### 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予測	発生概況及び注意すべき事項
イチゴ	萎黄病	発生量：—	1月下旬現在、平年より多い発生である。発病株はただちに抜き取り、適切に処分する。
	炭疽病	発生量：—	1月下旬現在、平年よりやや多い発生である。発病株はただちに抜き取り、適切に処分する。
	うどんこ病	発生量：やや少ない	1月下旬現在、平年よりやや少ない発生である。
ピーマン 促成	うどんこ病	発生量：平年並	1月下旬現在、平年並の発生である。
	斑点病		
促成 キュウリ	褐斑病	発生量：平年並	1月下旬現在、平年並の発生である。
	べと病		
	アザミウマ類	発生量：やや多い	1月下旬現在、平年よりやや多い発生である。

## II. 今月の気象予報

### 関東甲信地方1か月予報

(予報期間 1月24日から2月23日)

気象庁(1月22日 発表)

<向こう1か月の気温, 降水量, 日照時間の各階級の確率(%)>

[確率]

要素	予報対象地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信全域	20	40	40
降水量	関東甲信全域	20	40	40
日照時間	関東甲信全域	40	30	30

[概要]

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

<1週目の予報> 1月24日(土曜日)から1月30日(金曜日)

気温 関東甲信地方 高い確率60%

<2週目の予報> 1月31日(土曜日)から2月6日(金曜日)

気温 関東甲信地方 平年並または低い確率ともに40%

<3週目から4週目の予報> 2月7日(土曜日)から2月20日(金曜日)

気温 関東甲信地方 高い確率40%

### 農薬を使用する際は

- 1 使用する農薬の「ラベル」と登録変更に関する「チラシ」等を必ず確認し、適用作物, 使用方法, 注意事項等を守りましょう。
- 2 散布時には, 周辺作物に飛散(ドリフト)しないよう注意しましょう。
- 3 農薬の使用状況を正確に記録しましょう。